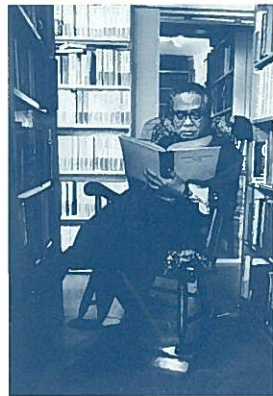


松本清張生誕100年記念巡回展

松本清張展100

清張文学との新たな邂逅

本展では、作家としての基層を形作った前半生の小倉時代と、旺盛な探究心をもってたゆまぬ挑戦を続けた後半生の作家活動とに焦点をあて、国民的作家・松本清張の全貌を紹介します。



書斎・書庫の清張／文藝春秋提供

小倉時代の松本清張——〈作家誕生〉まで

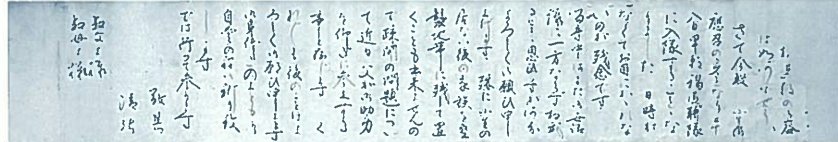
「西郷札」の入選は昭和25(1950)年12月で、松本清張41歳の年でした。82年の生涯の中間点での作家デビューでしたが、小倉での前半生は作家としての基礎を形作った、知的経験とエネルギーの凝縮した時代でした。新発見の「板櫃尋常高等学校・集合写真」など、松本清張記念館開館以来10年間の調査で発掘・収集した新資料・新証言を中心に展示します。



新発見！尋常高等小学校時代の清張少年



「或る『小倉日記』伝」原稿 日本近代文学館所蔵



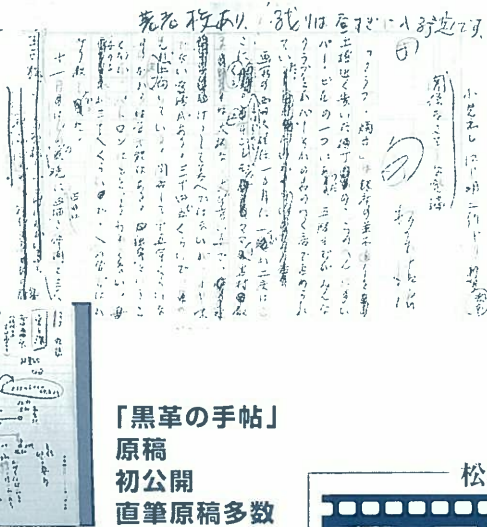
佐賀の叔父夫婦へ宛てた手紙 清張直筆

清張文学の世界



「火の路」イラン取材ノート

「点と線」の手書きメモ (『松本清張短篇総集』収録)



「黒革の手帖」原稿初公開 直筆原稿多数

「或る『小倉日記』伝」での芥川賞受賞機に、昭和28(1953)年12月、松本清張は上京します。亡くなるまでの、東京での40年間の後半生、清張は時代と向き合い、鋭く切り結び、昭和という時代を休むことなく駆けぬけました。そして、たえず新しい領域と形を追究し、ジャンルの枠に押しこめがたい1000篇を超える作品を書きのこしました。代表作の発想・取材・思索・創作の過程を紹介し、多数の直筆原稿を初公開します。

松本清張記念館オリジナル映像



「思索と創作の城」「点と線」「火の路へ」「日本の黒い霧——通かな照射」

関連企画のご案内

清張の誕生日12月21日(月)は文学館へ！この日にご観覧いただくと、希望者の中から抽選で、TOHOシネマズ高知で公開の映画「ゼロの焦点」ご鑑賞券を10名様にプレゼント！

◆記念講演会「作家・松本清張の誕生」

日時：平成21年12月20日(日)午後2時～
場所：高知県立文学館1Fホール
講師：中川里志氏(松本清張記念館学芸員)
参加料：要当日観覧券
定員：100名(要電話申込)

◆清張を観る！松本清張原作映画ビデオ上映会

「天城越え」平成21年12月23日(水)
「鬼畜」平成22年1月3日(日)
「わるいやつら」平成22年1月11日(月・祝)
※各日とも 時間：午後2時～ 定員：80名(要電話申込)
場所：高知県立文学館1Fホール 参加料：要当日観覧券

※お問い合わせ・お申込は

高知県立文学館
TEL:(088) 822-0231
高知県立文学館

この他にも多彩な関連企画を予定しています。

～その他の催し～ ※お問い合わせは主催者へお願いします。

○平成21年12月5日(土) 駅からウオーク「松本清張高知展記念ウオーク」
主催：高知県ウオーキング協会〈高知県観光コンベンション協会内〉(TEL088-823-1434)

